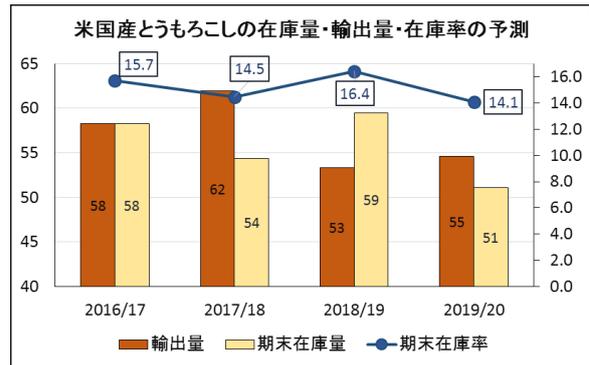
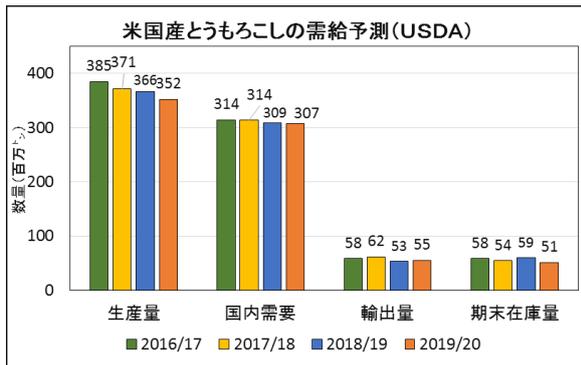


飼料穀物の需給見通し及び輸入原料事情について（令和元年7月）

○ 全日畜では、全日基の協力で「飼料穀物の需給見通し及び輸入原料事情」を提供します。

(1) 米国産とうもろこしの 2019/20（令和元年9月～2年8月）年度の需給予測

【生産量】	3億5,244万トン	（前月予測比：495万トン）
【単収】	10.42 トン/ha	（前月同予測） （166.0 ブッシェル/エーカー）
【国内需要量】	3億0,748万トン	（前月予測比：13万トン）
【輸出量】	5,461万トン	（前月同予測）
【期末在庫】	5,106万トン	（前月予測比：851万トン）
【期末在庫率】	14.1%	（前月予測比：+2.4ポイント） （世界の期末在庫率 26.3%）



(2) 飼料穀物（シカゴ）相場及び為替相場の状況等

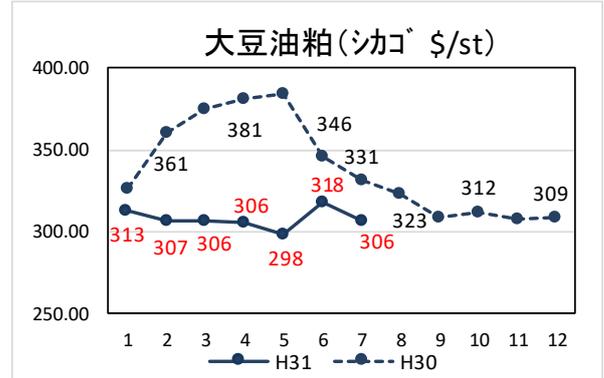
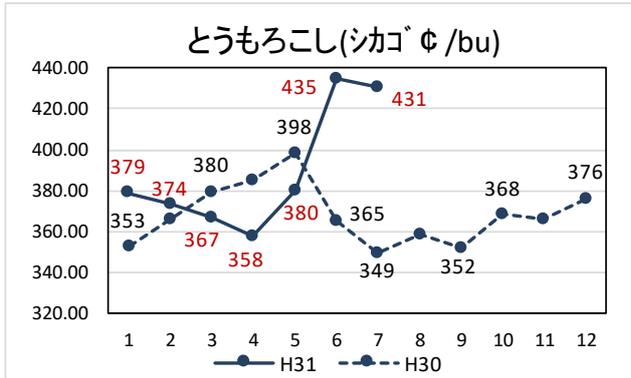
区分/月平均	3月	4月	R1.5月	6月	7月	
とうもろこし（¢/ブッシェル）	366.6	357.7	379.8	435.2	430.6	↓
大豆油粕（ドル/トン）	306.3	305.8	298.3	317.7	306.4	↓
為替相場(円/ドル)	111.2	111.2	111.1	109.5	107.8	↓
フレート（ドル/トン）	43.7	46.5	47.3	45.1	48.4	↑

資料：飼料月報、業界紙等 直近月は月半ば(7/12)までの平均値

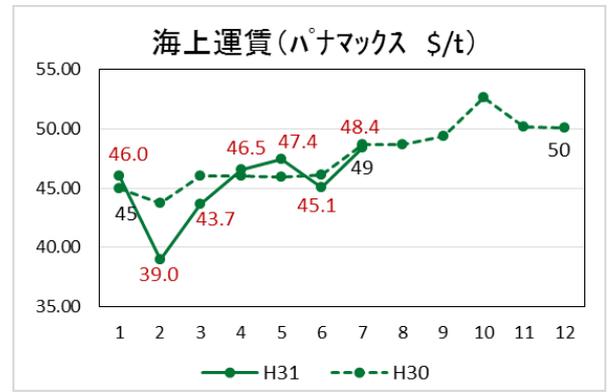
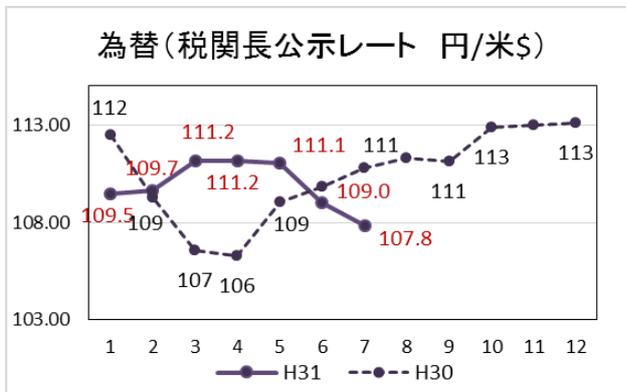
(注) 穀物価格はシカゴ相場の期近物平均、フレートはメキシコ湾岸～日本（平均）為替レートは税関長指示レート

(参考)

① シカゴ相場



② 為替、フレート



③ 配合飼料原料の輸入価格 (通関月ベース CIF 円/ト)

